様式第１号（第１０条関係）

2024 年度業務実績報告書

提出日　　2025 年 1 月 5 日

１．職名・氏名　准教授　小路　淳

２．学位　　学位　博士　、専門分野　農学　、授与機関　京都大学　、授与年　2000

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 魚類学（2 単位）2 年次生 生態遺伝学（2 単位）3 年次生 科学英語 II（2 単位）3 年次生 生物学実験（1 単位）2 年次生 水圏保全遺伝学実習（1 単位）3 年次生 水圏環境学実験（1 単位）2 年次生 インターンシップ（1 単位）3 年次生
②内容・ねらい 複雑で多様な水圏環境に生息する生物の形態，生活史，生態の特徴および自然との関わりについて，包括的に理解するための座学と，フィールドワークを身につけるためのメニューを考案した．専門性を活かして，科学，産業をはじめとする多様な分野において将来実践できる技能を身につけることを目的とした．
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 【魚類学】 地球誕生から現在に至るまでの 40 億年以上にわたる長い進化の過程で，魚類がどのように環境に適応し，多様な分類群を形成し進化してきたのかを包括的に理解できる講義内容を構成した． 【生態遺伝学】 魚類に限定することなく，生物一般について，種の生態，生活史と遺伝的背景を関連づけて理解できる講義内容を構成した． 【科学英語 II】 英語に対する苦手意識を和らげるように，専門分野の論文に加えて，動画，音楽，海外の風景などを適宜紹介して講義で活用した． 【生物学実験】 水産資源生物として重要な魚類についての理解と親しみを深めるために，大学キャンパス周辺の海で多獲される魚種（アジ類）を実験材料として用い，分類，測定，解剖などの技術，知識を習得した． 【水圏保全遺伝学実習】 陸と海のつながりへの意識を強められるよう，海から川へ遡上するハゼ類を現地（若狭町）の水田と周辺の河川で捕獲し，観察，データ収集する機会を設けた． 【水圏環境学実験】 水圏生物と環境を採集，調査するためのフィールドワークと，室内での測定作業，データ解析の手法を身につけるために，物理環境，プランクトン，魚類などの多様な調査･測定･分析手法をメニューに組み込んだ． 【インターンシップ】 多様な職種･業種で構成されるインターンシップ先を受講者が選択できるよう情報収集し，登録，報告書作成のサポートを行った． 【水圏生態学】

大学院生向けの講義として専門性を深められるよう，水圏フィールドで応用されている調査・分析手法，魚類の多様性形成メカニズムの解析手法に関する最新の研究成果や世界の動向を講義内容に盛り込んだ.

【ゲストスピーカー　　1 人】
【フィールドワーク等　2 件】

(2)その他の教育活動

内容

1. 2024 年 6 月 25 日に，公開講座「海洋生物資源学科を体験してみよう！2024～ようこそアクアサイエンスの世界へ！生物、環境、食と健康の研究紹介～」において講師として講演した.
2. 2024 年 8 月 1 日に小浜市立小浜美郷小学校 の総合学習「うみの魚が減っていることについて調べる」の一環として「漁業と環境について考えよう」というタイトルで講演を行った.
3. 2024 年 10 月 23 日に、福井県立若狭高等学校の生徒の訪問を受け入れ、本学の大学入試受験を念頭に置きつつ海洋生物資源学部および海洋生物資源学科の教育,研究の紹介を行うとともに，大学生活，学業などに関する質疑，意見交換を行った.
4. 2024 年 10 月 30 日に, 小浜･かつみキャンパスを育てる会の出張キャンパスの一環として, 小浜市立口名田小学校において「森と川のつながりを実感しよう」というタイトルで講演を行った.
5. 2024 年 12 月 16 日に，令和 6 年度学問発見講座の一環として，福井県立金津高校において本学海洋生物資源学部および海洋生物資源学科の紹介と，「魚類の特徴と多様性」というタイトルでの講演を行った.

４．研究業績

(1)研究業績の公表

① 著書

【0 本】

② 学術論文（査読あり）

＊1. Jun Shoji, Juri Hori, Takashi Kitagawa, Ryo Sugimoto, Mitsutaku Makino.
Regional comparison of the structure of human well-being related to ecosystem services in coastal areas of Japan: possible effect of anxiety unique to the ria coast.
Sustainability Science 19, 1751-1762（2024 年 4 月）
https://doi.org/10.1007/s11625-024-01508-3

【1 本】

③ その他論文（査読なし）

【0 本】

④ 学会発表等

＊1 小浜湾と周辺水域におけるアユ仔魚の出現と成長 : 河口における物理環境との関連，日本水産学会令和 6 年度春季大会（2024 年 3 月），荒井 遼，田原大輔，松林 順，杉本 亮，小路 淳

＊2 リアス海岸がもたらす福利・懸念の総合評価 : 国内 3 地域における主観的側面を比較する試み，日本水産学会令和 6 年度春季大会（2024 年 3 月），小路 淳，法理樹里，北川貴士，杉本 亮，牧野光琢

＊3 小浜湾のアマモ場における魚類相の季節変化，日本水産学会令和 6 年度秋季大会（2024 年 9 月），伊関奏汰，川元穂高，浜口昌巳，小路 淳

＊4 Regional comparison of the structure of human well-being related to ecosystem services in five coastal areas: possible effect of anxiety unique to the ria coast of Japan，英国生態学会（2024 年 12 月），Jun Shoji

【4 件】

⑤ その他の公表実績

【0 本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績

【学外】
なし（科研費応募中）
【学内】
地域連携研究推進支援（代表），1,950 千円

(3)特許等取得

(4)学会活動等
水産学会シンポジウム「リアス海岸の自然・水産・文化：持続可能な未来に向けた，社会ー生態統合アプローチ」を企画責任者として提案中 学術誌の査読： 1 月：Japan Agricultural Research Quarterly (国際農林水産業研究センター英文学術誌) 2 月：Ichthyological Research 5 月：Fisheries Oceanography 5 月：Marine Ecology Progress Series 10 月：Scientific Reports

５．地域・社会貢献活動

1. 地元の小浜市漁業協同組合からの要望を受けた，R6 年度地域連携研究推進支援に応募し採択された「若狭湾における藻場の環境と生物の総合調査：ブルーカーボンを含む生態系サービスの包括評価へ」を推進した. 2. 公開講座（海洋生物資源学科を体験してみよう！2024～ようこそアクアサイエンスの世界へ！生物、環境、食と健康の研究紹介～，Web 開催，2024 年 6 月 25 日） 3. 総合学習「うみの魚が減っていることについて調べる」（漁業と環境について考えよう，小浜市立小浜美郷小学校 ，8 月 1 日） 4. 福井県立若狭高等学校（大学入試受験を念頭に置いた海洋生物資源学部および海洋生物資源学科の教育，研究の紹介，大学生活，学業などに関する質問，意見交換，福井県立大学小浜キャンパス，2024 年 10 月 23 日） 5. 小浜・かつみキャンパスを育てる会出張キャンパス（森と川のつながりを実感しよう，小浜市立口名田小学校，2024 年 10 月 30 日） 6. 令和 6 年度学問発見講座（魚類の特徴と多様性，福井県立金津高校，2024 年 12 月 16 日）

６．大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
インターンシップ担当（主担当：4 月～3 月） キャリアセンター担当（4 月～3 月） 論集編集委員（主担当：4 月～3 月）
(3)学内行事への参加
R6 海洋生物資源学科オープンキャンパス web 講座
(4)その他、自発的活動など